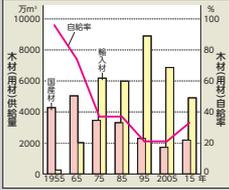


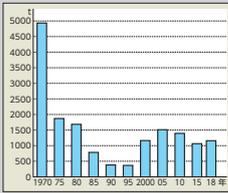
デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.214-215 環境に配慮した林業と漁業
2. 目標
 - (1) 近畿地方の林業や漁業では、環境保全のためにどのような取り組みを行っているか理解できる。
 - (2) 近畿地方の林業は、森林管理の技術を受け継ぐ若い後継者が少ないことが課題であることに気づき、どのようなことができるのか考えることができる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・紀伊山地の林業の特色を理解し、資料から課題を読み取ることができる。 ・森林や水産資源を保全・保護するための取り組みについて説明している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・森林を保全したり、活用したりしていくために、どのようなことができるのか考えている。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	<p>1. 近畿地方の林業と漁業の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。</p> <p>2. 近畿地方の林業と漁業は、どのような課題を抱えているか予想し、学習課題への見通しを持つ。</p>	 <p>p.214 1</p>  <p>p.215 6</p> <p>写真のおよその場所を地図帳で確認してみよう。</p> <p>近畿地方の林業や漁業の課題を予想してみよう。</p>	<p>○ 「吉野すぎの伐採」と、「船上で選別されるズワイガニ」の写真が撮影された場所を地図帳で確認させながら、本時への導入を図る。</p> <p>○ 近畿地方の林業と漁業の課題を予想させる。</p> <p>○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。</p>
	<p>学習課題：近畿地方で行われている林業・漁業では、環境を保全するために、どのような取り組みを行っているのだろうか。</p>		
展開	<p>3. 近畿地方の林業の特色を理解する。</p> <p>4. 紀伊山地の林業の課題について考える。</p> <p>(1) 国産材の低迷</p> <p>(2) 就業者の変化</p>	 <p>北山すぎ、吉野すぎ、尾鷲ひのきの共通点を挙げてみよう。</p> <p>p.215 5</p> <p>高品質な木材を育てるために、どのような作業を行っているのだろうか。</p>  <p>p.159 4</p>  <p>p.214 3</p> <p>グラフから林業の課題を挙げてみよう。</p>	<p>○ 北山すぎ、吉野すぎ、尾鷲ひのきの共通点を考えさせる。</p> <p>◆ いずれも高品質なブランド木材として知られていることを理解させる。</p> <p>○ 良質な木材を育てるために必要な作業について考えさせる。</p> <p>◆ 枝打ちや間伐、下刈りなどの作業が必要なことを理解させる。</p> <p>○ 資料から、紀伊山地の林業の課題を読み取らせる。</p> <p>◆ 国産材の生産量が減少し、輸入材の割合が高くなっていることに気付かせる。</p> <p>◆ 林業従事者数が減っていることや、35歳未満の割合が少し増えていることを読み取らせる。</p>

<p>5. 森林の機能について理解するとともに、森林を保全するための新たな取り組みが進められていることを理解する。</p>	 <p>地図帳 p.106 ⑫</p> <p>森林は、木材の供給以外に、どのような役割があるのだろうか。</p>  <p>p.215 ④</p>  <p>「近畿地方の林業」</p> <p>近畿地方では、森林を保全するためにどのような取り組みが行われているのだろうか。</p>  <p>p.215 ⑦</p> <p>なぜ、ズワイガニの漁獲量が減少してきたのだろうか。</p> <p>カニの漁獲量の減少に対し、どのような取り組みが行われてきたのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 森林の機能と、森林保全の取り組みについて考えさせる。 ◆ 森林を保全することが災害や地球温暖化を防ぐことにつながることに気付かせる。 ◆ 「環境林」の保全や「企業の森づくり活動」などの取り組みが行われていることを理解させる。 ○ 森林を保全し、活用するために、自分たちの立場でできることを考えさせる。 ○ 巻頭 1-2 の SDGs の 8、13、15 番との関連を意識させる。 ○ 近畿地方のカニ漁の課題について考えさせる。 ◆ カニの漁獲量の減少は、カニのとりすぎが原因であったことに気付かせ、カニの大きさや漁獲量、漁の時期を制限したことで 2000 年ごろから漁獲量が回復してきたことを理解させる。 ○ 巻頭 1-2 の SDGs の 14 番との関連を意識させる。
<p>7. 本時のまとめをする。</p>	<p>近畿地方で行われている森林や水産資源を保全・保護するための取り組みについて、説明しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 林業では「環境林」の保全や企業による植林、水産業では漁獲時期や水揚げするカニの大きさを定めることで資源の保全・保護が行われていることなどを説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。
<p>8. 学習課題への振り返りの活動を行う。</p>	<p>「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「節の振り返り」へ記入させ、次節の学習へつながりを持たせる。
<p>9. 「節の問い」への振り返り活動を行う。</p>	<p>近畿地方における自然環境や歴史的景観の保全は、人口の増加や産業の発展のなかで、どのように取り組まれてきたのだろうか。</p> <p>この節で学んだことから、次の節の学習に生かせることを考えてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「節の問い」への振り返り活動を通じて、学習の成果を整理し、次の学習に生かせることを意識させる。

展
開

整
理

節
の
振
り
返
り